



市史へんさん



最近、厳しい暑さもやわらぎ、秋晴れの日が続いて、過ごしやすくなりました。時折吹くそよ風が心地よく、虫の音が秋を感じさせてくれます。

さて、市史講座の開催が迫ってきました。前号で開催日時を 11 月 16 日、午後 1 時 30 分から 3 時 30 分とお知らせしましたが、午前 10 時から 12 時と変更になりました。時間にお間違えのないように、たくさんの方々のご参加をお待ちしております。



第 64 回 市史講座

小松出身「其方」の 狂歌について

講 師：綿拔 豊昭 氏

(筑波大学教授・小松市史専門委員)

日 時：11月16日(日)

10時～12時

会 場：小松市公会堂4階 大会議室

受講料：無料(事前予約不要)



<内容>

小松出身の下級武士白沢其方^{きほう}。狂歌と狂絵で加賀藩の祭礼や行事を絵日記で綴りました。絵手紙風なビジュアルな狂絵に、古典を引き合いに庶民目線で面白おかしく歌った狂歌。歌に詳しい綿拔教授が、絵日記の内容に切り込みます。

流聞軒其方狂歌絵日記(石川県立歴史博物館所蔵)



「狂歌」を読み解こう!!

「其方」は、宝永6年(1709)に小松に生まれ、姓が白沢、号が流聞軒。竹田家の家臣で、金沢長町に居住し、狂歌が得意でした。勝圓寺(現大領町)の門徒であることから父の50回忌に来松し、その出来事をこの絵日記に綴り、「邯鄲に題す」として、下記の狂歌を添えています。(右写真)

「粟でなし米の食喰て五十年其方は御坊にかり枕して」

邯鄲という都市で、栄華が思いのままになるという枕を仙人から借り、うたた寝をしたら、富貴を極めた50余年の夢を見たが、起きると粟がまだ煮えない程の短い間だったという故事「邯鄲の枕」をふまえた歌です。

「粟」、「五十年」、「かり枕」をうまく読み込み、さらに自分の名「其方」までいれる作歌能力は高く評価されます。



「邯鄲に題す」の狂歌(右端)/狂絵は日吉神社の御輿



<事務局9月の活動状況>

- ・ 9月2日(火) 建築部会
- ・ 9月4日(木) 美術作品調査・撮影
- ・ 9月5・26日 産業調査(漁業)
- ・ 9月6~14日 回向札調査(多太神社)
- ・ 9月10日(水) 美術工芸部会
- ・ 9月12日(金) 建築調査(庭園)
- ・ 9月14日(日) 美術調査(絵馬)
- ・ 9月16日(火) 建築調査(那殿・市内神社)
- ・ 9月22日(月) 建築調査(山間部民家)

新修 小松市史「民俗編」のお知らせ

12月まで特別価格(3,800円)にて、販売しております。
お求めの方は、お早目に、市史事務局までお越しください。
1月以降は、5,000円となります。



<事務局10月の活動予定>

- ・ 10月9・16・30日 実測調査(延命閣)
- ・ 10月16日(木) 建築調査(合掌造)
- ・ 10月24日(金) 近世村方部会
- ・ 10月下旬 建築調査(山間部民家)



<10月のカレンダー>

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

は小松市史編纂事務局(図書館2階)が閉室しています。10/1~10/3は蔵書点検で図書館は休館です。

市史編纂担当(小松市教育委員会生涯学習課)

小松市史編纂事務局(小松市立図書館2階)

・住所 〒923-8650 小松市小馬出町91

・住所 〒923-0903 小松市丸の内公園町19

・TEL 0761(24)8274 ・FAX 0761(23)3563

・TEL 0761(24)5315 ・FAX 0761(22)9763

・E-mail hensansitu@city.komatsu.lg.jp

・URL <http://www.city.komatsu.lg.jp/shishihensan/index.html>

